

## 地域ケア会議の開催実績及び地域課題について

## 1 報告内容

## (1) 開催状況

## ①開催回数 (令和元年度～令和3年度)

	項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度
開催回数		年間131回	年間112回	計187回
(開催方法)	集合型	—	—	117回
	オンライン	—	—	70回
(内訳)	・個別ケース	85回	76回	135回
	・地域課題	46回	36回	52回
(機能別)	・個別課題	89件	70件	118件
	・ネットワーク構築	95件	89件	137件
	・地域課題発見	64件	55件	107件
	・地域づくり・資源開発	46件	35件	57件
	・自立支援	34件	45件	75件
	・その他	6件	4件	13件
	※機能別回数は 複数選択あり	計 334件	計 298件	計 507件

・令和3年度(令和4年4月末速報値)は全体で187回の開催で、対前年比で75回の増。内訳としては個別ケース支援型で59回、地域課題解決型で16回の増。また、コロナ感染症関連として、開催方法では以前は想定をしていなかったオンラインを活用した開催が増加している。(※令和2年度(2020年度)は未集計)

・地域課題解決型では、大半がネットワークの構築・地域課題把握・地域づくりの3点をセットに開催されている。

・個別ケース支援型では、病気(身体・精神を含む)と認知症の割合は約6:4となっており、全体の約2割に8050問題を抱えている。また、2号被保険者も約5%対象としている。

・自立支援型地域ケア会議の開催増により、民生委員、地域住民団体の関係者に加え、主にリハビリ職関連の専門職の参加が増加(理学療法士、作業療法士、薬剤師、栄養士等)  
(裏面あり)

(2) 地域ケア会議を通して見えてきた市全体の地域共通課題					第8期介護保険事業計画 (R3~5年)
大項目		(課題)	資源の有無	新たな資源開発・対応が必要なもの	計画の柱
共通課題	① 感染症・災害対応力の強化	利用者・職員の安全、事業継続性の確保	個別避難計画の作成	事業継続計画(BCP)の策定 ※2024年度全ての介護事業者に策定義務付け	4 在宅生活の支援 1 地域ネットワークの充実
	② DX・ICTの活用	①つながりの確保 ②安否確認 ③情報共有	①③スマホ教室 ②見守り協定事業 ②みまもりあいアプリ・GPS探索機器 ③てくポ	①②③オンラインツールの勉強会 ②見守りネットワーク	1 地域ネットワークの充実 3 認知症の共生と予防 4 在宅生活の支援
	③ 認知症対策	①早期発見・対応 ②8050問題 ③地域づくり ④独居高齢者 ⑤老々介護 ⑥セルフネグレクト ⑦ごみ屋敷	①認知症初期集中支援事業 ①~⑦総合相談、権利擁護 ②⑦重層的支援体制整備事業 ③普及啓発・見守り事業	若年性認知症に関する普及啓発 当事者・家族支援の場づくり 当事者目線のケアパス作成 ホームページ・SNSの活用	3 認知症の共生と予防
	④ 自立支援	①自立に向けた支援の仕組みづくり ②共通認識と合意形成	①通所B (新) 通所C 訪問B・C ①てくポ ②地域ケア会議の活用	対象者の把握 事業の充実・周知	2 自立支援・重度化防止
	⑤ 社会参加居場所づくり	①フレイル予防 ②孤立防止 ③孤独死	①てくポ ①家族会・認知症カフェ ②地域サロン ③生活支援団体 (訪問B)	①認知症家族サロンわたぼうし ②③多数あり	2 自立支援・重度化防止